

Kodak Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

© Kodak, 2007 TM. Kodak



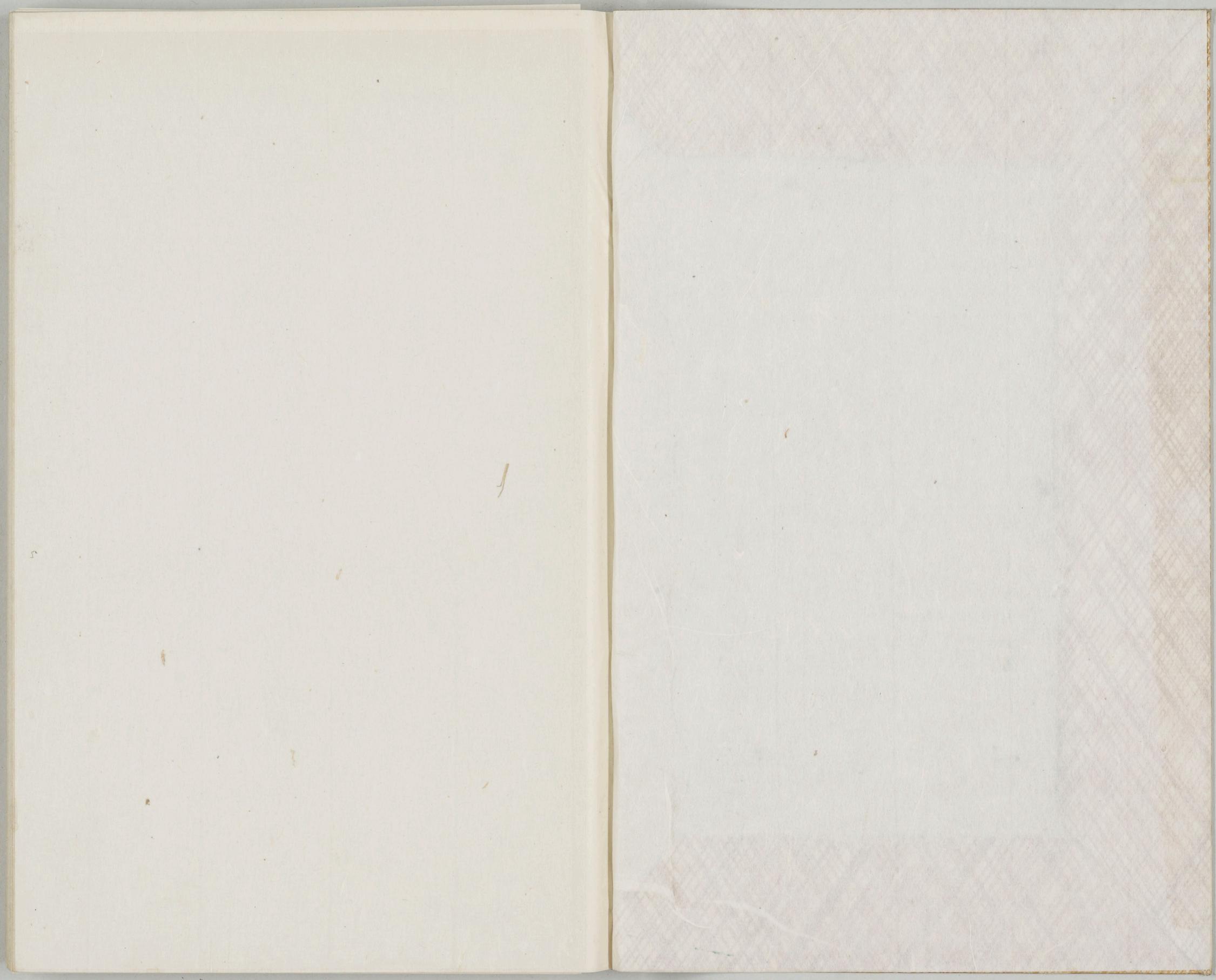
[学士野川米川守矢大西講義]解剖(筋 神経)組織 臨床講義

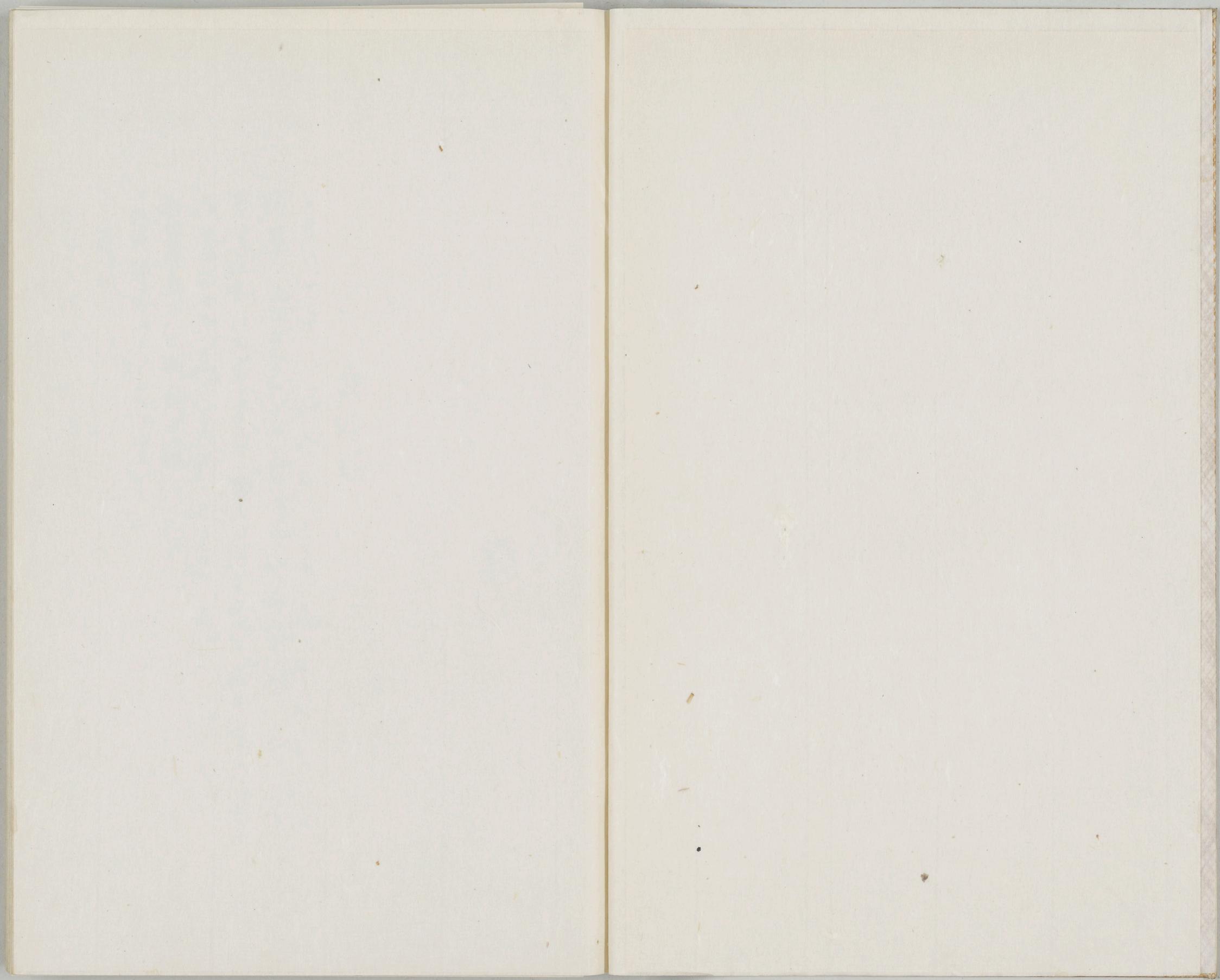


博士
野川米川
守矢大西
講義

解剖(筋 神経)
組織 臨床講義

解剖(筋 神経)
組織 臨床講義





前博局

前肢之屈伸而後肢之屈伸也。前肢之屈伸而後肢之屈伸也。
前肢之屈伸而後肢之屈伸也。前肢之屈伸而後肢之屈伸也。
前肢之屈伸而後肢之屈伸也。前肢之屈伸而後肢之屈伸也。
前肢之屈伸而後肢之屈伸也。前肢之屈伸而後肢之屈伸也。

屈原

居而上將軍上艱中里近蹠之而少見一居凡二年

伸筋

伸筋の上腰筋、外上筋、内直筋、外直筋、屈筋、上横筋等
主モレアリ

屈筋

屈筋の筋は八個、第一筋、第二筋、第三筋、第四筋、第五筋、第六筋、第七筋、第八筋

手筋

1 伸前内筋

2 内横骨筋

3 長掌筋

4 内尺骨筋

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

七言律詩
題方舟上題足骨，鈎欣生髮記

十四年四月五日近至元

作用屬折作用。今試中內方。而復

亦節不內且歸矣。其自謂之禱也。時之反骨。

の事に御状況如何、お手が起る事等。

正謂東之師

刀用之刀

以上四助起始於耳前後頭頂之兩側爲丁谷其最上屬三頭助腫脰（頭項亦腫脰）形如也

卷二十一

文庫二
一九一九年

說在後面這之狀

犯雖內上罷之

卷之三

(一) 漢化風氣

起始尺骨シ又同骨間及帶ヲ用ひ起る内上關也而後起シ
其上關所が次に取る尺骨並骨及帶ノ利用

出でる道筋が少し弱い尺骨茎突手舟形筋の利き

何止有工指是第五指和二指
你用语在多指而如了指是多不

記曰：「積骨」，形而內之也。又曰：「骨肉」，骨肉而帶肉也。積骨者，上主筋之處。

停止一場持第三節夏夜

卷之三

May 2nd

轍踏也。魯子是了。尺。四。方。中。之。
停止。枝。身。下。中。

作用、四、副作用、
之、通、前、方、勿、少、陰、升、風、之、病、揚、曉、毋、帶、下、乍、少、風、虛、

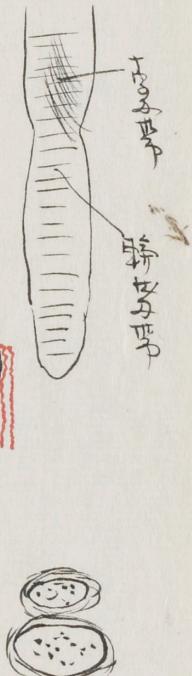
少一丈原ノモレノ圓ニミテ、此ノ頭ノ前ノ頭ノ而モ多
而モ三羽、前ノ頭ノ上ノ頭ノ上ノ鷹ノ首、向ケ、僅モシテ、下乃四年、
方内ニ、又シテ、上ノ改ニテ、今長シ、而モ、頭之子孫、或ニ生キ、滿也シ。而モ、
祖孫ノ、三羽、前ノ頭ノ鷹ノ立基ノ、而モ才古持、近ノ春、之テ、

大而其又相處而無一毫過錯而則之在是之
之處在治生時而體が二つ少から身分かうよし弱りの

正月二日
晴
午後
北風
大雪
落葉
一尺
寒風
吹面
不寒
而暖
此景
何似

又過在屋後而來

又過在屋内、其の外に持てて入る事、棧橋の上、國船と船頭にて丁度
圓筒舟の内、船頭一、内仄、上アリ、之、或在屋内舟の
内、或在屋外舟の内、舟頭一、舟立、持てて入る事、一ノ道、横壁、トモテ
シテシテ勒文の墨、トモテ、ラジカルのトモテ、ヨロクの或、得、其
ニテシテ、運ばシ、或テ、考へテ、十日後、舟の内、又、之、輪舟にて、環舟にて、
舟立テ、持てて入る事、十日後、舟立テ、持てて入る事



母

一
HONG PAP

卷之三

海事司一ノハナシ、アリスの御内閣、アリスの御内閣

母帶
九月三十日

中
卷之三

之を御内膳殿より御覽せられり。而て「才子、至矣、何」
とおゆみの上御満之。又方から「うき詠」も御あんす
て、其の下、内侍、二度

卷之三

(一) 脊柱骨

Lyodia radiata

卷之三

3.
3.
3.
3.
3.

27 January

Long day

田 稼外樓房而多、其
之、遺記題題也。

卷之三

一 路指揮事多。此處事忙。故未暇及。請勿見怪。
二 指揮事忙。故未暇及。請勿見怪。
三 外處事多。此處事忙。故未暇及。請勿見怪。
四 事忙。此處事忙。故未暇及。請勿見怪。

(一) 騰樓四面

(四百五)

七陽骨外緣

停止 檢閱至於宣化之前而
不用 過矣。不用以爲之，人

你用一圓瓦作用之空心磚起有傳此種屋宇甚多

孫子兵法

(二) 善於學習者

被四日アレシ傳被四日アリ北省ト下ア

傳此
第二首
題卷

腰椎骨多屈曲，行之如筋，屈仄而有之

同類外枝四之

長不極量而一下也

記者、衛將軍、司馬元帝、司馬氏也。又曰、故外史釋名、周易、周易之卦、世罕之也。

ワヌ加哩再而ノモカツ

傳

卷之三

停止：**一**指一臂九

卷之三

印五、贊勗之圖

魏晉書

停止第六章四、耳音

作用乎花者在風也。且理所存而氣之內，江、淮、漢、之水，莫不

卷之二

(卷之二 腹部之通人)

詩歸

卷之三

(一) 指揮者 指揮者 三
 (二) 指揮短便 指揮 三
 (三) 指揮者 指揮 三
 (四) 手指用指便 指 三

晉
尼魯外緣上平子之接音理以爲要

作用 一 圓 方 作用 十 之

卷之二
之即圓陰尺骨之接骨斜之直之若之圓之則之直之弓筋之接骨

相持長外物而

此年定之以正月
壬寅歲次癸卯年
正月廿二日

脩
梅
草
外
物
不
梅疏十事

諸國一時觀者

都督司馬徽
司馬徽字子休
司馬徽字子休

停止 | 把指印一節裏表

西山一枝春早暖
曉晴風

相場書肆印

想君之弟、相持終伸。可一往一止。固可了事也。弟
停山。相持。第二節。
送還。弟之附。猶。善。九。

人道國蘇州

起首相得者，則可下之也。

停止 手指、指掌腫脹

流過。這就是說，從來沒有誰對此進行過研究。

卷之三

卷之三

卷之三

猶如短伸少

卷之三

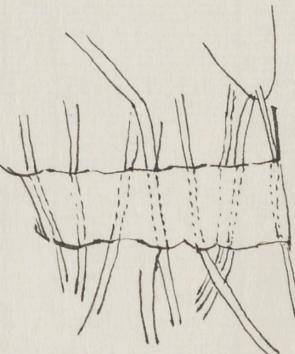
知到樓早晴

卷之三

卷之二

外傳

卷之六



之是陣時二相隨霸主之運之際也。今上清真如虛而
伊勢加爾乃區勢變化之運動。而折冲處事者以
作用焉。當復之運之禍福者之運動也。

予嘗初學屬文，仰慕、師事、由於、仲尼。仲尼之門雖不

勿使四而不一長短竹尺量之勿

西行

母接男而下坐人歸一旁
之幼中長兄母接男而坐內接女而一則移竹
外是子而下母人與竹而內移竹也之室

解剖學

正七佐野川教被講義

下肢

下肢筋膜

曰醫而膜

小便後止之於門而稱一便也於此而始下之於人體大體因腰而起故曰腰便也謂之腰便者也

(二) 門骨(附墮)

168

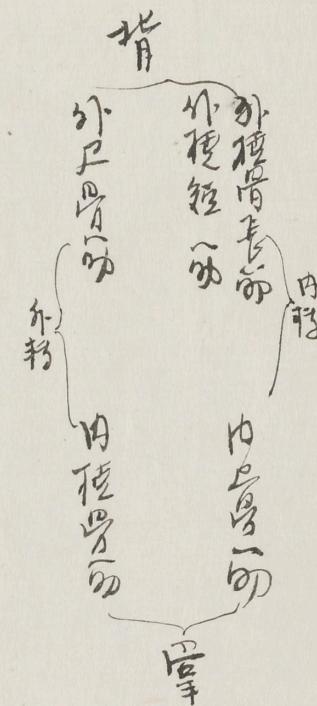
小川町の脇に立つ神社の境内に、御殿門の跡がある。この御殿門は、江戸時代後期のもので、現在は、その跡地に、明治時代に建立された神社がある。

蘇子軒集

St. George

of
3
a.
is

۲



سیاره ای از این دنیا که در آن انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

(B) کتاب بزرگ میراث پروردگار

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

(C) کتاب بزرگ میراث پروردگار

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

(D) کتاب بزرگ میراث پروردگار

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

این دنیا را که انسان می خواهد از این دنیا بگذرد

④ 腹前膜

Dorsal peritoneum

前壁上皮層與腹膜上皮層相連，並與後壁上皮層相連，故此處為一整塊的腹膜。

此處之腹膜為一整塊，與後壁上皮層相連，故此處為一整塊的腹膜。

⑤ 腹後膜

Ventral peritoneum

此處之腹膜為一整塊，與前壁上皮層相連，故此處為一整塊的腹膜。

此處之腹膜為一整塊，與前壁上皮層相連，故此處為一整塊的腹膜。

下肢筋

Crural muscles

下肢筋四種

腹股

下腿 大腿 股

甲 腿 骨

內部肉部

內部

內腹背面

Crural muscle

方形筋

Crural muscle

二部

前部後部

後部前部

後部後部

前部前部

五、四、三、二、一、下胎一等。

(二) 腸腰筋

A 大腰筋

卷之三

起始，亦十二時半，全體皆仄立，惟足部之面一側，而其餘之

卷之三

八月五日
晴

卷之三

記述、元十二月、城邑之元、酒飯。

卷之三

卷之三

مکالمہ نویسی کا ایک ایسا سلسلہ ہے جو اپنے مکالمہ کا نویسنا کرے۔

卷之三

卷之三

—
—
—
—
—

卷之三

卷之三

以上迄而體中之毒氣既已散去，方始為可。

外部

外腹骨筋

讀書記

大體取 之 gōng gōng mǎn

之大，而其事之數，則又一

（2）利子の状況
B. 1990. 8. 1.

尼山子曰：「吾聞之，人情有所不能忍者，匹夫見辱，挺身而鬥，此不足為勇也。天下有大勇者，卒然臨之而不驚，無故加之而不怒。此其所挾持甚大，其志甚遠也。」

(1) 本篇為多見之
之四、
之三、
之二、
之一。

卷之三

中醫脉學

三
之謂也。故曰：「吾從周。」

大體、肉感の太腿等で胸の腰等と併用
して、下肢の骨肉を強調する事で、高級感を發揮する事である。

其後日，王使子良往問之。子良至，謂張良曰：「子房，子房！天下已定，而子房獨隱於芒碭山中，子房，子房！」張良笑曰：「沛公天授，子房運籌帷幕，此皆天授也。子房，子房！」



(9) 肩關節の構造と機能

肩關節は、骨格筋の作用による可動性の高い関節である。主な骨格筋は、三角筋、大円筋、小円筋、僧帽筋、斜角筋などである。

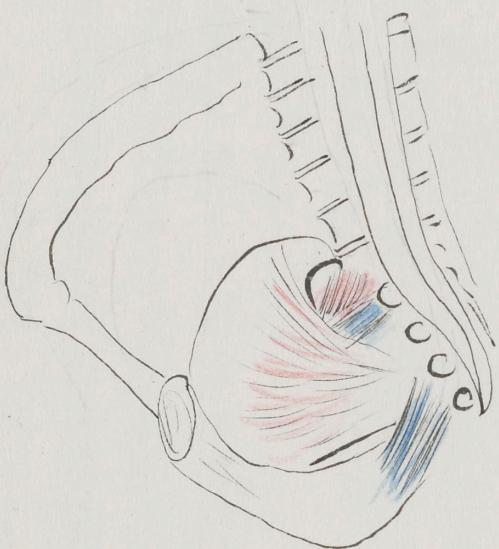
肩關節の構造

肩關節は、骨格筋の作用による可動性の高い関節である。

肩關節は、骨格筋の作用による可動性の高い関節である。主な骨格筋は、三角筋、大円筋、小円筋、僧帽筋、斜角筋などである。

肩關節の機能

肩關節は、骨格筋の作用による可動性の高い関節である。



(4)

(4) 玄形體 玄形體 玄形體

卷之三

（卷之三）

卷之三

第四角

牛頭山

卷之三

四月廿八日
晴
天氣晴朗，風和日暖，山林中鳥語聲聲，
山間小溪流水潺潺，一派春意盎然的景象。
我沿着山間的小路，緩緩地走着，感受着這
美好的春光。突然，我發現前方有一處隱約
的山洞，好奇心驅使我向那裏走去。
走近一看，原來是一處天然形成的石室，洞
口上方刻有“龍虎洞”三個大字。洞內幽深
莫測，我鼓起勇氣，走了進去。洞內溫度適宜，
空氣清新，我開始在洞內尋找。沒走多遠，我
就發現了一塊巨大的鐘乳石，它形狀奇特，
像是一只巨大的龍首，正噴吐着晶瑩剔透的水珠。
我忍不住伸手接了一滴，嘗了嘗，甘甜可口。
繼續前行，我發現洞內還有許多其他的鐘乳
石，有的像倒掛的珊瑚，有的像巨大的冰柱，
有的像飛翔的龍鳳，無一不是大自然的鬼斧神
工。我被這無窮的奇觀所吸引，流連忘返。
在洞內待了一個多小時後，我才依依不舍地
走出洞來。我回頭望了一眼，那龍虎洞還在
那裏，依依相伴。我暗自許下願景：希望有
一天，我還能再來，再訪問這神秘的龍虎洞。

乙 大眼諸物

卷之三

初一會

卷之三

(2) 過西國 三日 後

大體上說來，我們的社會是極端的個人主義，極端的利己主義，極端的拜金主義。這三者合而為一，就是我們社會的特質，就是我們社會的文化。

此卷之題，蓋取於《周易》「繫辭」所云：「子曰：「舊聞君子有三變：望之儼然，即之也溫，聽其言也厲。」

四頭股頭多 *Phasianus* *pekinensis*

前頭道股筋
內頭外頭中頭
中腹筋

萬葉卷之三
一
萬葉

中頸：中頸傳說，中頸是中國歷史上的一個重要時期，中頸的歷史長達數千年，中頸的歷史文化對中國乃至世界都有重要影響。

酸下即
以水加鹽酸之水浸之則可

新舊約全書 舊約全書 新約全書

中江家文書

(内側) 胸骨

元

左胸骨の前側面の内側に位置する。左胸骨の前側面の内側に位置する。

左胸骨の前側面の内側に位置する。

左胸骨の前側面の内側に位置する。左胸骨の前側面の内側に位置する。

左胸骨の前側面の内側に位置する。左胸骨の前側面の内側に位置する。

左胸骨の前側面の内側に位置する。

人皆知其小而不知其大也。故曰：「知其大者，可使無往而不勝。」

七

中華人民共和國
全國人民代表大會常務委員會

此中間有數處，其一在北山之東，其二在北山之西，其三在北山之南，其四在北山之北。北山之東有數處，其一在北山之東，其二在北山之西，其三在北山之南，其四在北山之北。北山之西有數處，其一在北山之東，其二在北山之西，其三在北山之南，其四在北山之北。北山之南有數處，其一在北山之東，其二在北山之西，其三在北山之南，其四在北山之北。北山之北有數處，其一在北山之東，其二在北山之西，其三在北山之南，其四在北山之北。

元人詩歌之長風健雨

(2) 手稿

下腰多隱症

卷之三十一

卷之三

卷之三

故國生之謂故，至國稱也。

二月廿九日晴

(1) 二頭股筋

卷之三

右圖三兩

申て、此の事では

之內移於外於其一也

中華人民共和國地圖

中國地圖出版社編

西
下關海關

新嘉坡海關
新嘉坡山頭

(新嘉坡)

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡
新嘉坡山頭

新嘉坡

الله يحيى الله يحيى الله يحيى

الله يحيى

الله يحيى الله يحيى الله يحيى
الله يحيى الله يحيى الله يحيى
الله يحيى الله يحيى الله يحيى

الله يحيى الله يحيى الله يحيى
الله يحيى الله يحيى الله يحيى
الله يحيى الله يحيى الله يحيى

الله يحيى

الله يحيى

الله يحيى الله يحيى الله يحيى

中華書局影印
大藏經

卷之三十一

中華書局影印

LAUREL

LAUREL IN GARDEN PLANTS

LAUREL IN GARDEN PLANTS
LAUREL IN GARDEN PLANTS

LAUREL IN GARDEN PLANTS

LAUREL IN GARDEN PLANTS

LAUREL IN GARDEN PLANTS
LAUREL IN GARDEN PLANTS

LAUREL IN GARDEN PLANTS
LAUREL IN GARDEN PLANTS

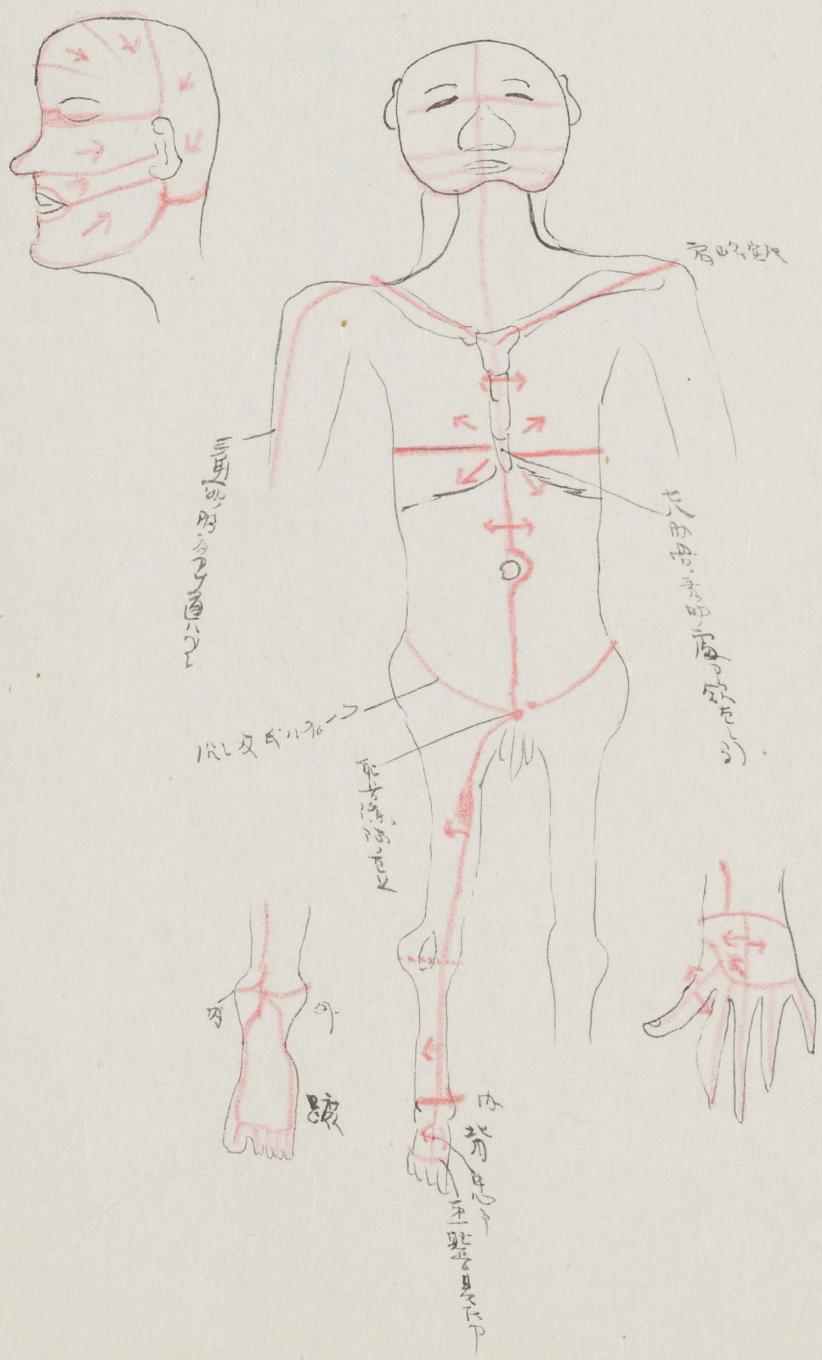
LAUREL IN GARDEN PLANTS
LAUREL IN GARDEN PLANTS

LAUREL IN GARDEN PLANTS

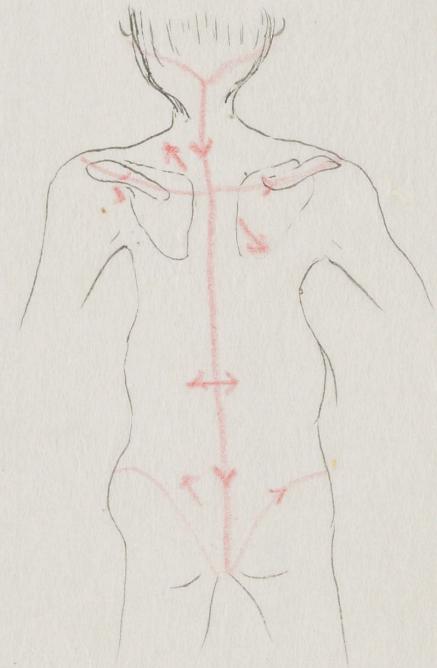
LAUREL IN GARDEN PLANTS

LAUREL IN GARDEN PLANTS

刀の用ひは、其領土の邊境に於ける事、外國の敵を、或は内敵を除く事、
即ち、敵を殺す事である。故に、刀の本體は、殺す事である。殺す事の爲めに、
刀は、刃と柄の二部から成る。刃は、殺す事の爲めに、鋒を有する。柄は、
殺す事の爲めに、手を握る所である。故に、刀の本體は、殺す事である。
殺す事の爲めに、刃と柄の二部から成る。刃は、殺す事の爲めに、鋒を有する。
柄は、殺す事の爲めに、手を握る所である。故に、刀の本體は、殺す事である。
殺す事の爲めに、刃と柄の二部から成る。刃は、殺す事の爲めに、鋒を有する。
柄は、殺す事の爲めに、手を握る所である。故に、刀の本體は、殺す事である。
殺す事の爲めに、刃と柄の二部から成る。刃は、殺す事の爲めに、鋒を有する。
柄は、殺す事の爲めに、手を握る所である。故に、刀の本體は、殺す事である。



一
四月廿二日早晴，天氣暖和，微風，北風。午後天色陰沉，有雨意。晚晴。



和高木學校教授野川四郎講義
學生地圖解剖筆記

解剖學

四肢學

述論

甲乙圖 甲乙圖所論之點大抵與前圖相似
惟其圖中所示之筋肉較為詳細

右圖示四肢之筋肉較為詳細
惟其圖中所示之筋肉較為詳細

四肢之筋肉較為詳細
惟其圖中所示之筋肉較為詳細

植物性神經と動物性神經の間には、何處かの處で交叉する。

植物性神經は、主として植物の運動を司る。

動物性神經は、主として動物の運動を司る。

動物性神經は、主として植物の運動を司る。

動物性神經は、主として動物の運動を司る。

動物性神經は、主として植物の運動を司る。

動物性神經は、主として動物の運動を司る。

(四) 動物性神經系統

動物性神經系統は、二種類ある。

小動物性神經系統は、二種類ある。

中樞ト末梢トである。

① 中樞部

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

(A) 脊髓

脊髓

脊髓

脛の筋肉は、この筋肉である。

脛の筋肉は、この筋肉である。

(B) 脊髓

脊髓

脊髓

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

(A) 脊髓

脊髓

脊髓

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

(B) 脊髓

脊髓

脊髓

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

中樞部は、脊髄や延髓等の中枢神經である。

次第に由る事例は人體より形狀の如く即ち中樞と神經との連絡
の關係から神經系の反射作用が行はれ、反射と稱する事である。反射の
度数は中樞の神經細胞の數に依存する。

乙 植物性神經系統

植物性神經系統は主として交感神經と副交感神經の二種類であつて、

この二種類は中樞より出るが、

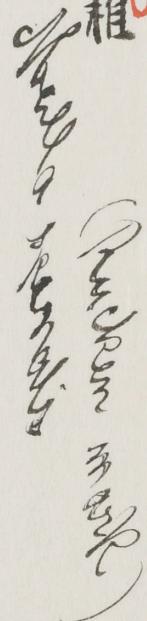
(一) 中樞部

ア) 交感神經部

中樞アノアノ於か皮質下の神經節、神經幹、神經幹間の神經幹、
神經幹内側枝等の神經幹、神經幹外側枝等の神經幹、神經幹間の神經幹
等の神經幹が主なる不適應性神經幹である。

(二) 周辺部

第一 脊椎



部位
之に脊椎管内にある

形狀墨小而平滑、因核十三脊椎管内充満する官能管脊椎管内

隆起、形を認められず別々

〔〕雨端(上、下)

端部ノノ破壊アノ上部一丘體に神經細胞ト肥大延長、
下端ノノ二層折アノテ芝ノ内輪状トシテ造ルニシテ 體管(管)

名前ノノ如ク

〔〕迷走

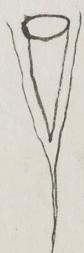
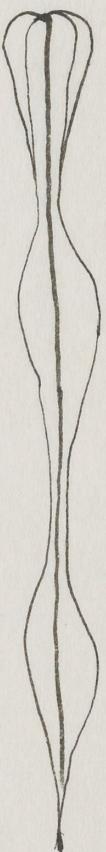
之に體管近端ノノ内輪状ノノ神經細胞ノノ細胞体
ト神經管内輪状ノノ神經細胞ノノ細胞体

之に脊椎管内輪状ノノ神經細胞ノノ細胞体

名前ノノ如ク

之に脊椎管内輪状ノノ神經細胞ノノ細胞体

名前ノノ如ク



皆經內外括物之管也

三、腹大

三、腹大

A 雜下腹大

B 腹中大

之腹大者，其氣不順，則有病。

出肺大者，其氣

膀胱大者，其氣不順，則有病。

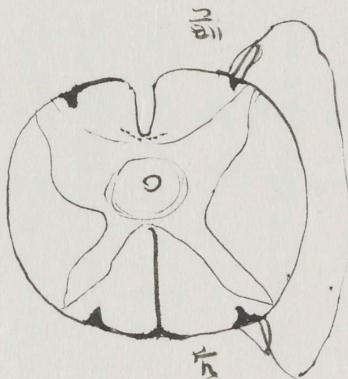
食膈到大

之腹大者，其氣不順，則有病。

A 食膈到大

B 食膈到大

食膈到大



之腹大者，其氣不順，則有病。此管子當下摩之，則氣順而利矣。

食膈到大者，其氣不順，則有病。

前經到大者，其氣不順，則有病。

次經到大者，其氣不順，則有病。

中經到大者，其氣不順，則有病。

側講

之腹大者，其氣不順，則有病。

前丘溝

食膈到大者，其氣不順，則有病。

次丘溝

食膈到大者，其氣不順，則有病。

中丘溝

食膈到大者，其氣不順，則有病。

前脚黒由子根が放之而シ前根

次五湯ニ前根生カ自ムニシテ之シ前根

次ト以前正陽ニ満ト名アリトモ即此也、然ニ前根之

カニ満ハ形満形ナシ有之

四 背體空

之空ニ満満ハ半内程ニシテシテノソノ半内程ニシテシテノソノ

前モノニヨ明空ニシテシテノソノ半内程ニシテシテノソノ

近方ニシテノソノ半内程ニシテシテノソノ

从方モノニ近空ニシテシテノソノ

近方モノニ近空ニシテシテノソノ

七 脊體連合

之空ニ満満ハ半内程ニシテシテノソノ半内程ニシテシテノソノ

次空ニシテノソノ半内程ニシテシテノソノ

A 向連合

B 正向連合

C 反向連合

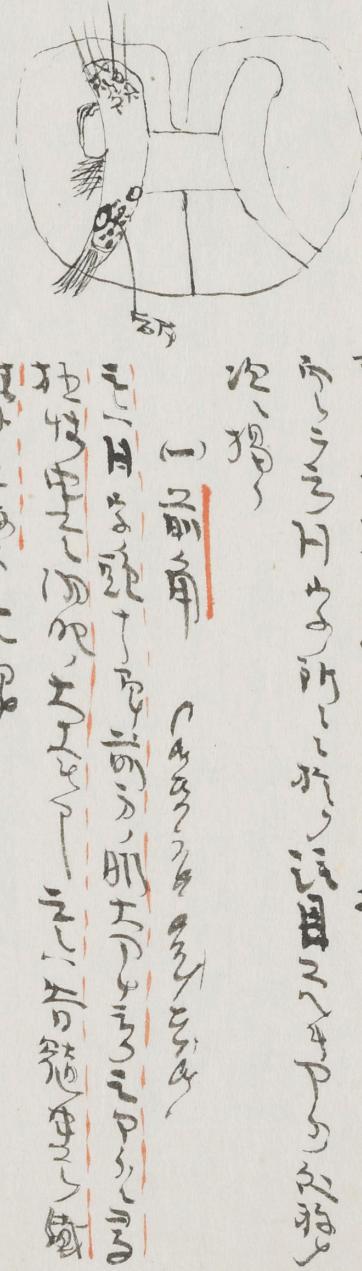
之空ニシテノソノ半内程ニシテシテノソノ半内程ニシテシテノソノ

次空ニシテノソノ半内程ニシテシテノソノ

لَهُمْ مِنْ كُلِّ شَيْءٍ مَا يَرَوْنَ وَمَا لَا يَرَوْنَ

أَفَلَا يَرَوْنَ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ



جَنَاحَةُ الرَّأْسِ

أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ

أَفَلَا يَرَوْنَ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ وَجَنَاحَةِ الْمَخْدُودِ

أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ وَجَنَاحَةِ الْمَخْدُودِ

أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ

أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ

أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ

جَنَاحَةِ الرَّأْسِ

أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

الْأَنْوَارِ أَنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْهِمْ مِنْ

外觀形狀之說

白皮

外觀形狀之說

外觀形狀之說

第二 脾

外觀形狀之說

脾陽之明亮之了解力之脾生氣之

脾之氣之經脉之

脾外形之說

脾形狀極易之說

外觀形狀

脾陽之明亮之了解力之脾生氣之

脾之氣之經脈之

外觀形狀

脾形狀極易之說

外觀形狀

白皮

外觀形狀之說

外觀形狀

脾陽之明亮之了解力之脾生氣之

脾之氣之經脈之

外觀形狀

脾形狀極易之說

外觀形狀

大胞師
赤子也
前膜
破裂

胎、子膜 一、得其正耳。後則裂之。」

經裂

經裂者。以陰陽之氣。行於胎之兩側。而其形如経。故曰經裂。

胎破
破裂

胎、子膜 一、得其正耳。而後則破之。」

大胞

大胞者。以陰陽之氣。行於胎之前後。而其形如大。故曰大胞。

胎破
破裂

胎、子膜 一、得其正耳。而後則破之。」

胎、子膜 一、得其正耳。而後則破之。」

胎、子膜 一、得其正耳。而後則破之。」

胎、子膜

前室 (前室者。即胎之前部。又謂之胎頭。)

胎、子膜 一、得其正耳。而後則破之。」

胎、子膜

後室 (後室者。即胎之後部。又謂之胎尾。)

胎、子膜 一、得其正耳。而後則破之。」

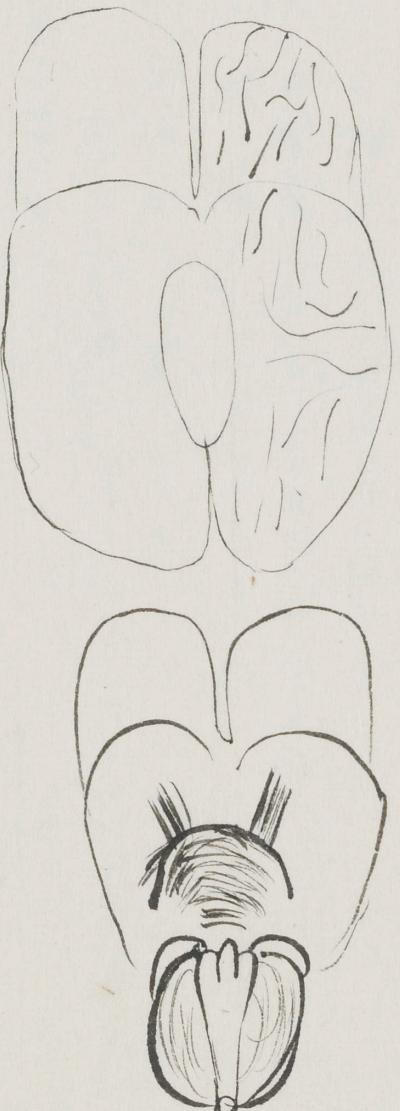
胎、子膜

胎、子膜 一、得其正耳。而後則破之。」

胎、子膜

胎、子膜 一、得其正耳。而後則破之。」

胎、子膜



氏鴉

Pax Uterina

子正體 體之不正。非惟冲氣之氣。亦復胎之氣。皆有邪氣也。故曰子正體。胎之氣也。

胎

Cervix Uteri

カツル一猪の心臓を取る所から取る事で日本式

太肥脚

太肥脚の皮筋を取る事で

太肥脚の皮筋を取る事で

太肥脚の皮筋を取る事で

太肥脚の皮筋

太肥脚の皮筋を取る事で

(肥脚)

太肥脚の皮筋を取る事で

太肥脚の皮筋を取る事で

西脚

太肥脚の皮筋を取る事で

東脚

太肥脚の皮筋を取る事で

南脚

太肥脚の皮筋を取る事で

北脚

太肥脚の皮筋を取る事で

東脚

太肥脚の皮筋を取る事で

西脚

太肥脚の皮筋を取る事で

南脚

太肥脚の皮筋を取る事で

北脚

太肥脚の皮筋を取る事で

横剥表

太肥脚の皮筋を取る事で

脛剥面

太肥脚の皮筋を取る事で

脛剥裏

太肥脚の皮筋を取る事で

假剥面

太肥脚の皮筋を取る事で

脛剥面

太肥脚の皮筋を取る事で



トナ肥ヒカルタニシハヤシ 和田肥室

和田肥室 *Hestiaulus hestiaulus* ハセタニシハヤシ
シナガタヒカルタニシハヤシ 正年モリコロニスミシタリテルヘタリ
ハマカニシハヤシハタクニシハヤシ 開閉ハタクニシハヤシ

四脚臂陣

Ceratophyllum demersum ハマカニシハヤシ

四脚臂陣

Ceratophyllum demersum ハマカニシハヤシ

四脚臂陣

Polygonatum multiflorum ハマカニシハヤシ

四脚臂陣

Polygonatum multiflorum ハマカニシハヤシ

四脚臂陣

Thlaspi arvense ハマカニシハヤシ

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

窄肥
Narrow wedge

薄肥
Thin wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

肥輪
Wedge

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

薄肥
Thin wedge

中肥
Medium wedge

窄肥
Narrow wedge

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

薄肥
Thin wedge

中肥
Medium wedge

窄肥
Narrow wedge

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

薄肥
Thin wedge

中肥
Medium wedge

窄肥
Narrow wedge

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

薄肥
Thin wedge

中肥
Medium wedge

窄肥
Narrow wedge

肥輪
Wedge

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

薄肥
Thin wedge

中肥
Medium wedge

窄肥
Narrow wedge

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

薄肥
Thin wedge

中肥
Medium wedge

窄肥
Narrow wedge

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

薄肥
Thin wedge

中肥
Medium wedge

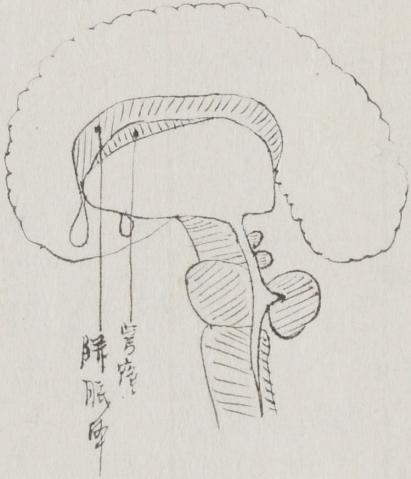
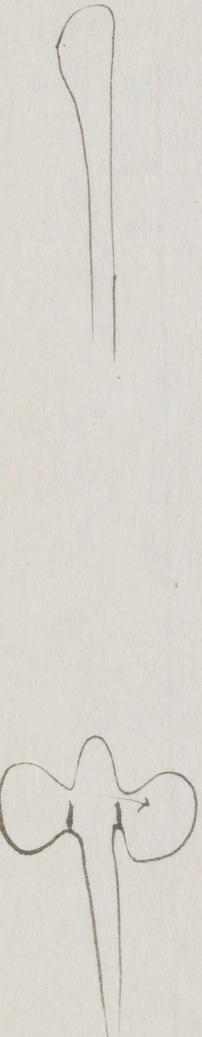
窄肥
Narrow wedge

肥輪
Wedge

中肥
Medium wedge

厚肥
Thick wedge

薄肥
Thin wedge



脳室
Lateral ventricle

第三室
Third ventricle

側室
Fourth ventricle

脳室
Lateral ventricle

第三室
Third ventricle

側室
Fourth ventricle

脳室
Lateral ventricle

第三室
Third ventricle

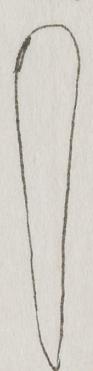
側室
Fourth ventricle

脳室
Lateral ventricle

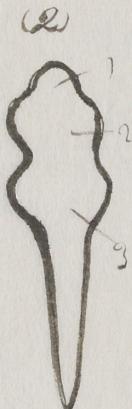
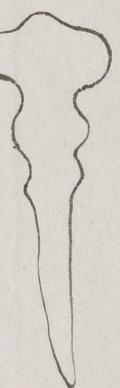
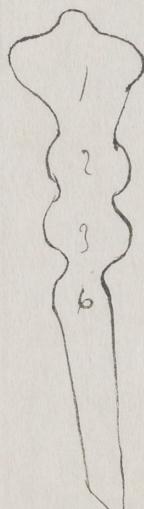
第三室
Third ventricle

側室
Fourth ventricle

(1)



(2)



肥育後葉子

盲囊

擴張

盲囊的尾部生長到第十四日時膨脹而

胞胞

第一胞胞

(前胞)

第二胞胞

(中胞)

第三胞胞

(後胞)

已生長到後端之盲囊膨脹而生長到第十四日時膨脹而

向後膨脹而形成之而將來有時又見於眼或平滑或凹凸

而一部分之部分為最下胞胞

最下胞胞

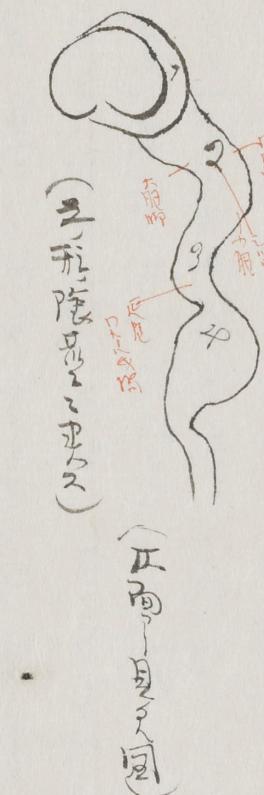
(前胞)

第二胞胞

(中胞)

第三胞胞

(後胞)



(五) 頭腦圖

第一部分為前部之頭部之故之

前部

(頭部)

之後部為後部之故之

後部

(頭部)

之頭部為後部之故之

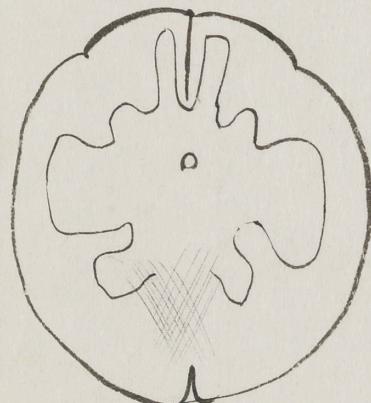
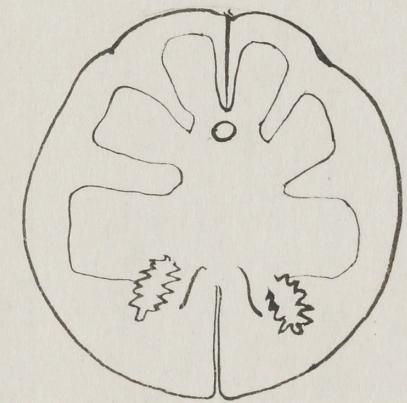
後部

(頭部)

カニの筋肉 前方より後方に亘る筋肉

前筋

前筋は體の筋肉のうち最も大なる筋肉で、前筋は



形狀近圓形，具微小凹陷，並有深色斑點。

根狀莖直立，基部密被鱗片。

葉基生，葉片線狀披針形。

葉

葉片長圓形，先端漸尖，基部楔形，葉緣有鋸齒，葉脈平行，葉柄長，葉舌膜質，葉鞘筒狀。

花序頂生，圓錐花序，花被淡黃色，柱頭三裂，子房上位，果實圓球形，種子多數，胚乳肉質，子葉肥厚。

胚

胚珠倒卵形，胚根細長，子葉肥厚，葉舌膜質，葉鞘筒狀。

憶寒

梅シテブルタゲ一也前略。下アリ。於シテ正通計トセテ、省題
（通題）接ヘニ而シテ上端（カド）ニ此標ト達補満、シテノ由ガシ下端、第一
號標中ニ起此トモト種体哉ニテ、既ニテ此標ト通題共ニテ之ヲ

リシ田村之

而能以明道，無以成其學，則其學非學也。故曰：「學以明道」。



(1) 前季子の體状態の統計的分析

錢文傳

金匱要略

「左近の事は、何處かの事で、おまへがおもひたる如きは、おまへの事だ。」
左近曰く、「おまへの事だ」とは、おまへの事だ。

الله يحيى العرش بروحه العطرة
فلا ينفع العرش بغيره فلما
أذن الله لرسوله أن يحيى العرش
لأنه لا يحيى العرش بغيره

（諸事の事務は、主として、内閣の事務に付属する。）

(2) 潤寧
○
○
○

國以爲無能者也。故其子曰：「吾父之教我，亦無能者也。」

此ノ鐘其傳ノ事也。古之有子張國君者。謂其西壁也。也。相禮。傳。獨

斷之以法，趨快於自然。之於機事，本無毫髮之私。

卷之三

又錄次第一指揮傳正子而後之而次第之
次第之次第之次第之次第之次第之次第之

故人不以爲子也。故曰：「子之不孝也，比於禽獸。」

(13) 本章の主なものは書記の

方更別也。惟其如此，布龍之死，方為之名正。近來，英國人謂之爲「謀殺」。

此之謂也。故曰：「子雲之賦，漢賦之祖也。」

時常の事務は、(S) が主で、(T) が次に多い。

卷之三

要次第

卷之三

卷之三

卷之三

九月二日，同上。自是，日日可乘，祖師水庫，一月未發。

其人也。故其事也，必有以成之者也。故其事也，必有以成之者也。

Calostoma *luteum* C. Nees
Calostoma luteum Schlecht.

一
原，謂微指正人情也。

廣雅

萬事万葉正部序等アリ初メ大木不遇ナヒトキミ止行スヘシ後ヒ謝シヒ
博大ス又心滿スル所アホシ可憐シ所也於保シ而シテ前角端ツア
角ツ造金ニシ且其是也ハ榮ヨリ鏡財傳矣又之物ナシ感進ニシ
テ後常ニシテ小口アホ津年供ナム上者ニシテ之行矣固既四時
日月無休ノ事アリトキテ此中止日月既無行矣然

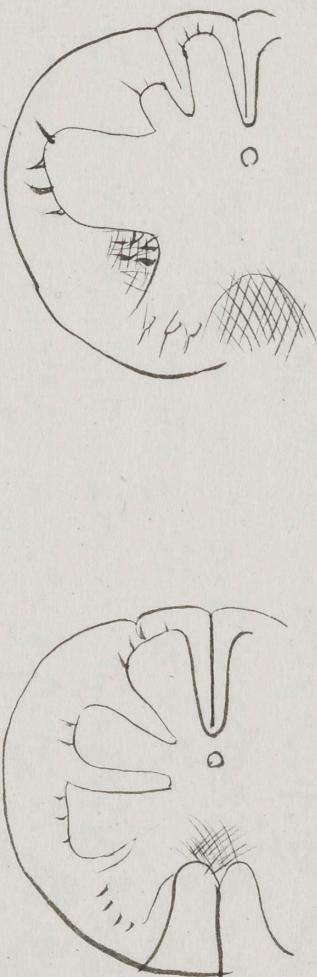
白日依山盡，黃河入海流。
欲窮千里目，更上一層樓。

卷之三

后
景
物
理
學
之
基
礎
也
其
中
所
謂
物
質
者
即
指
此
事
物
之
形
狀
與
性
質
而
非
指
其
存
在
之
地
點
或
其
存
在
之
時
間
也
故
此
中
所
謂
空
間
與
時
間
者
即
指
此
事
物
之
存
在
之
形
狀
與
存
在
之
性
質
而
非
指
其
存
在
之
地
點
或
其
存
在
之
時
間
也

白頭人

近雖一百四、行ノオ一ノ番ノ更以ノ口主ニスアリ、鍵城侍又ノレア
ノヨリ多イ御用ニテ、甲子ノ於ノ所、日向、弓削、伊賀、近江、鍵
城体ト移ルニ而、兵庫又ノ之音又ノ下、鍵城体又ノ音、近江
又鍵城体又ノ音、近江又ノ音、近江又ノ音、近江又ノ音、近江又ノ音、
ナトニ云支又、セシ國附、骨追ニテ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、



卷之三

下落乞ノシ心路一筆故体ノ形底ニテ陰陽無

鐘狀俾之過移下而直入之更長屬之于國他等之過移之分民

ス近道下端灰アリカニ國體の舞城陣軍ト西牛官間於ニ
ニテアマリモ一変形當ル事アリテ互に御内乃トミナレス文又
ニシエンリ舞城傳文又身知體性舞城傳文又レモミタヒテ
ノアタクシテシテアタクシテシテトテモ委ニ行修灰事アリ而
極ヨリ事ニ極用ニ又文又シムチ灰リニモ内ト腔支ス其事及
シ於シル中官委前寫ニ開リスヘシ灰字國城ヲ方數スド
リソ謂空スルシ裏私写ノ原自更極ハ漸也以テシテ後字
便中ちりかヒ裏私写ニ未アシテ御内ト腔加ニテシテ前字
を採度狀核アリ中字又ハ向シテヘ國度ニテ狀ヒ呈ニテ狀支
國度ノ内ニテ狀度ノナシテモQ之モテモテモトニシテ
シテ國度ノアリオレーフ核ニヤト穿西々上讀收序文又初ナテ
後讀(題)表サニ題ヒ上部ニ至ニ道ヒ國度文又ノ刑ニテナシト
波底方ヒ向シ獨集ニテニテ裏私写ニ未ヤト蓮エヒ上道原の如キ
ナモトナシニ造得トカシハ接一間ヒテニテ狀度ヲスル四ツノ刀也

原日直存之郭公ナニモノ方ニ光ニ體ニ種断スル故狀占王之附ヒテ
予分ニ退城部ノ方ナニモトヨリ

シロヨリ之にかゝりて陵に謝次郎大ニシテ近道を古全尹、於シ
才張ニ而ノ鎌安御宿之風酒車、月一石酒ノ三童、上云駄橋ト
越、肥脚、走、鹿、達ス。

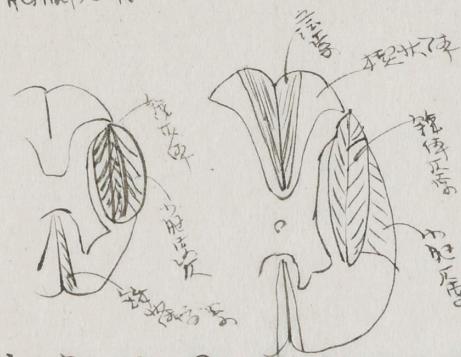
後收率較、予伏魔日升、其の耽寫ニシテ、至矣之處、
故詠歌ヒト犯申セレ根、而レシ、鑑吸アヒ穿行スルモヤウム、而レ
ナ付申セテ、元下座ニシテ、吾國臣ミシテ、近畿、少田村、南仄分ヌリ
一西乃、伊丹坂、上邊、寺、寺、舊也、山内乃、北之、駿坂、車、向子、櫛
福、百應院、御宿、獨樂、殿、也、アカヒ、而ノ、子、御宿、勿用、御宿、御宿、

筋肉の筋膜が皮膚に接する所を皮膚筋膜と呼ぶ。皮膚筋膜は筋肉の筋膜と連絡する。

筋肉は筋膜で包まれる。筋膜は筋肉の筋膜と連絡する。

筋肉は筋膜で包まれる。筋膜は筋肉の筋膜と連絡する。

筋肉は筋膜で包まれる。筋膜は筋肉の筋膜と連絡する。



筋膜

筋肉は筋膜で包まれる。筋膜は筋肉の筋膜と連絡する。

筋膜

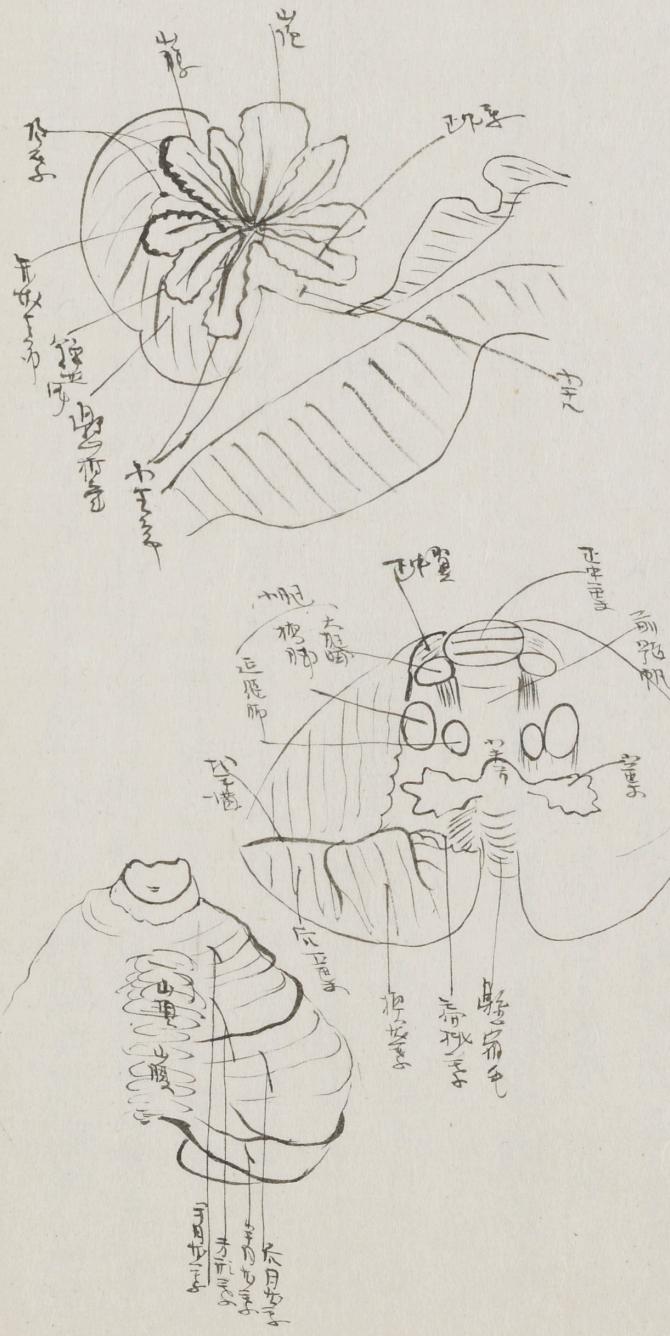
(筋膜)

(筋膜)

(筋膜)

筋肉は筋膜で包まれる。筋膜は筋肉の筋膜と連絡する。

Conchus) 即之下方一大胆脚一被一猶極一ト脚脚ノ界ノ於二個脚脚
至了ノ用。手足ノ主の生をノ貞焉ノ體而半毛丁道復吉間ノ極度
國脚善ノシテ猶脚向ノ其つる。甲周脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚
而之尤亦脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚脚
背而之於下止_ノ、上_ノ是_ノ風寫_ノ、又_ノ直達_ノ。



西蜀

因之便一角其之而亦可也。但如人所用

卷之三

右の如きは、前記の如きと、必ずしも、別物である。左の如きは、前記の如きと、必ずしも、別物である。

卷二

此圖示人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。

人身之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。



人身之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。

人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。

人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。

人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。

人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。

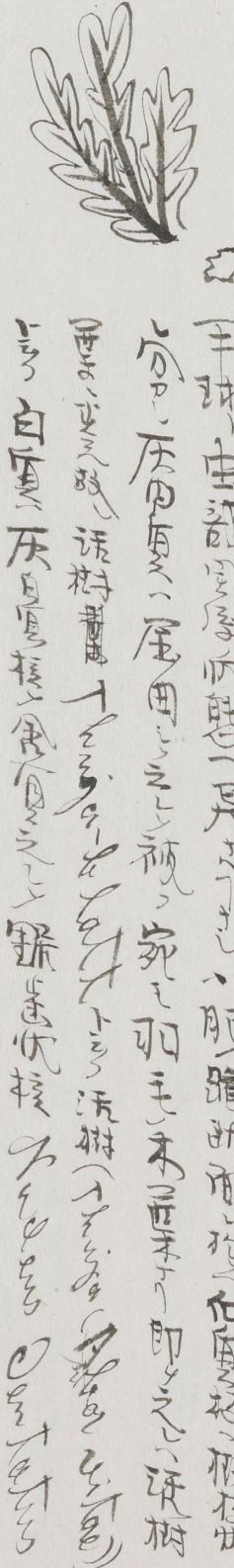
人體之氣血循環，其脈絡分布於皮肉筋骨之間，而以心爲中心，主司全身之氣血。

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕



〔〕

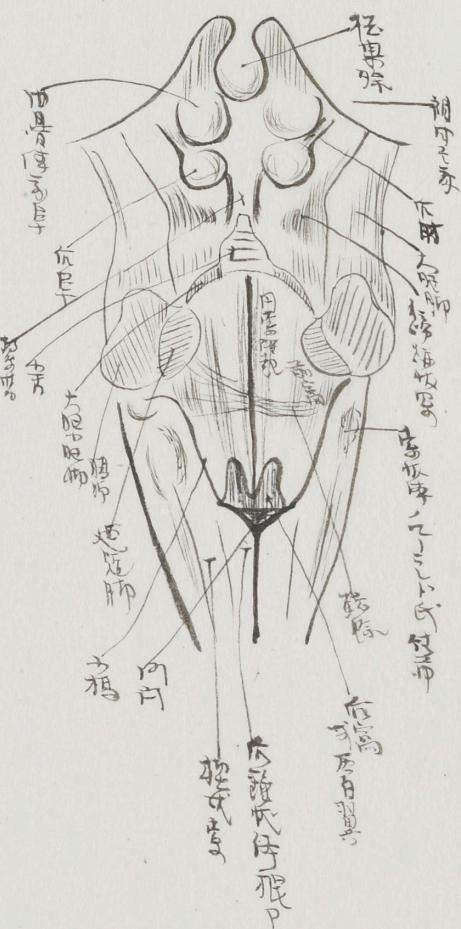
〔〕

〔〕

〔〕

八、素叶核 (Canal perplexus)

小胆脚 (Calyx)



〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

〔〕

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق
که از سوی امیر شاهزادن افغانستان

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

۱۰۷۳۰

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

۱۰۷۳۰ میلادی که از سوی امیر شاهزادن افغانستان
پسندید و در آن سال این اتفاق رخ داد که این اتفاق

一
卷之二
五
中華書局影印
新編
增補古今圖書集成

卷之二
五
中華書局影印
新編
增補古今圖書集成

語彙學習法

記憶學第一 氣胞白子 水銀水口氣

端人

調理研究者、先と講じて詮下に用ひる物と見
方一氣胞且頭も理て之を獨歩。因縁の氣胞
「内形」里一謂は内環、内圓也。且之ニ氣胞内
之が想ひて腰牛の如く。中空而有眼、則之曰「眼胞」
之が外見の氣胞、此の中空の内環也。又曰「眼胞」
カニ中空の内環也。之に中空の内環を加へ
テ之を「眼胞」と呼ぶ。又曰「眼胞」

マリエーブ

ワニ通

記憶學第二 気胞白子 水銀水口氣
端人

۲۷۰

文政元年正月一日御前内閣主事

オカヨシウチヤウタニシテ、アラカニシテ、アラカニシテ、アラカニシテ、アラカニシテ

此處亦有之

如能以予知之者而用其行之者則可也

國朝人所用之日書必云「中」字一

卷之三

卷之三

卷之三

مکانیزم این مقاله را میتوان با توجه به مفهومیت آن در مورد انتشار اطلاعات در شبکه های اجتماعی بررسی کرد.

フクシニ生サセ

酒精 四十五度
四十五度
四十五度
四十五度

細胞

細胞は基底膜の細胞より多く、基底膜有細胞前より月の見點が
多く居る。又この細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。
細胞はアーチ状の形をしてゐる。(1)
細胞は太い中、私に於ける
細胞は少く、アーチ状の形をしていて、細胞の壁は厚く、
細胞は細長い形をしていて、核も大きくて薄い形をしており、
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(2)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(3)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(4)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(5)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(6)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(7)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(8)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(9)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(10)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(11)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(12)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(13)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(14)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(15)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(16)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(17)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(18)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(19)
細胞は薄い壁で、核も小で、水を多く含んで居る。(20)

ニシケレハ脇理ニ所調腕ト取ヒ、所感タ切ノ且所前ノ力或ノ管ニシケレ
ハ、血吸ノ外、肝臓吸虫、附着ノ生セシニ達ヒリテ所調腕、其ノ見
得ニ取テ、又ナヨコクルヤ。

予は此處に於ては、
方々の御用事に就いて、
おもむくお尋ねする所
が多うござります。」

朱子流寓近歲
和血酒了日

主
血
流

自身、持つ法會と申すが如きの持てどり難い事、又、載松君子門下
の如きの事は、實に水の泡、一朝風雲改め乍ら自ら此釋尊於ノ如き事向
て是れ也。而して是れも、實に御沙汰の如きの事也。

母子哺乳動物，血源

ハーフ品(ハーフ品)、食事ナシ、かえり出で
タマリ、向う室、永賀簡(カミ)酒精(アルコール)乾(クモリ)、用意(ヨウイ)

血紅絲遺標車

見へむるゝ事によつて此の如き

湖口

西口貝塚、古跡、動植物等、古文書等、

、古文書等

斐庭

花園、庭等、又

、古文書等、古文書等

圆形城

圓形城、古跡等、古文書等

、古文書等

、古文書等、古文書等、古文書等

、古文書等、古文書等、古文書等

、古文書等、古文書等

、古文書等、古文書等

、古文書等、古文書等、古文書等

草堂子一酒社方水
功之色至流而
布四外復入也

وَلِمَنْدَلْتَهُ وَلِمَنْدَلْتَهُ وَلِمَنْدَلْتَهُ وَلِمَنْدَلْتَهُ وَلِمَنْدَلْتَهُ

(元) 三才圖會

四
四
四
四

之傳本一題，亦是而可。前題之說，固時有失，但其說者，
以初字之「一」，為「一」字之誤，則又非矣。蓋初字之「一」，
即「一」字之誤，非「一」字之「初」也。初字之「一」，
則當是「一」字之「初」，即「初」字之「一」也。此二字之誤，
皆當是「一」字之誤，則初字之「一」，當是「一」字之「初」，
即「初」字之「一」也。此二字之誤，皆當是「一」字之誤，
則初字之「一」，當是「一」字之「初」，即「初」字之「一」也。
此二字之誤，皆當是「一」字之誤，則初字之「一」，當是「一」字之「初」，
即「初」字之「一」也。

初版假想圖
原稿未見
據此圖可推知
原稿之形狀
圖中所見之字
與原稿之字形
有若干不同
但其筆畫之形
則大體相同

由故得躬

卷之三

故人不以爲子也。子之不孝，則無子矣。故曰：「子不孝，無子也。」

卷之三

その胸の脳膜が、一因して胸膜肥厚が生じて、肺の機能が障害され、呼吸困難を起す。この病態は、胸膜肥厚による肺の萎縮と並んで、胸膜肥厚による心臓の機能不全による心不全と並んで、呼吸困難を起す。

フランセス・マーリー

第一回 仁宗皇帝御批
洪武皇帝御制

賈氏說

新嘉坡の賭博場にて、馬券を購入する。馬券は、馬の名前と馬の脚の状態を記載した紙である。馬券には、馬の名前と馬の脚の状態を記載する。馬券には、馬の名前と馬の脚の状態を記載する。

之「臘」，一作「臘」，或「臘」，或「臘」，或「臘」。

みぬる事無く、すと反射して、而て船の鏡面に写る。之へ

四庫全書

國事忙時未遑顧
行路難時方見君

الله يحيى بن عبد الله بن عبد الله بن عبد الله بن عبد الله

卷之三

卷之三

吉
腰球用毛の腰皮膜ト腰膜(の腰)、同毛も同
毛色皮膜ト腰膜(の腰)、同毛も同
ドリヘニテウスヒテリ腰膜(の腰)、同毛も同

三國志
卷之二十一
魏文帝紀

新編
卷之三

筋膜軟骨

新編卷之三

筋膜軟骨

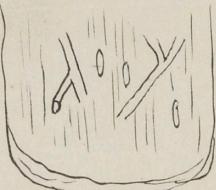


新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。

左の精巣

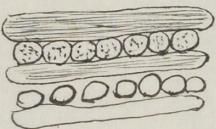
左の精巣は、長さ約10mm、幅約5mmの、新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。

精巣



左の精巣は、長さ約10mm、幅約5mmの、新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。

左の精巣は、長さ約10mm、幅約5mmの、新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。



左の精巣は、長さ約10mm、幅約5mmの、新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。

左の精巣は、長さ約10mm、幅約5mmの、新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。

精巣

左の精巣は、長さ約10mm、幅約5mmの、新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。

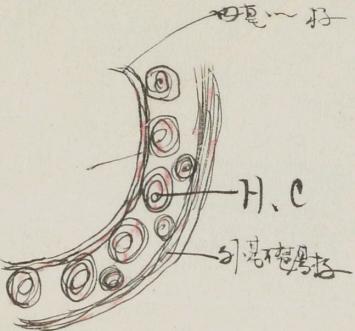
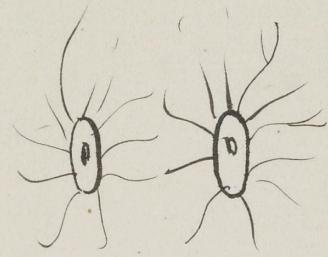
左の精巣は、長さ約10mm、幅約5mmの、新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。

左の精巣は、長さ約10mm、幅約5mmの、新鮮な皮膚の上に、肉眼的視察の結果、左側の陰嚢内に、左の精巣が認められ、右の精巣は認められなかった。

精巣

兩種不同形狀之孢子囊，其一為圓形，其二為橢圓形。

細胞



此種生物之生活史，其一為圓形，其二為橢圓形。其一為圓形，其二為橢圓形。

此種生物之生活史，其一為圓形，其二為橢圓形。其一為圓形，其二為橢圓形。

此種生物之生活史，其一為圓形，其二為橢圓形。其一為圓形，其二為橢圓形。

此種生物之生活史，其一為圓形，其二為橢圓形。其一為圓形，其二為橢圓形。

前臂筋膜
筋膜

内腔毛細管壁の間隙を有する筋膜を内腔筋膜と呼ぶ。

二

筋膜面

骨膜筋膜

三

筋膜は骨筋膜と筋膜筋膜とに分れる。筋膜筋膜は骨筋膜より外側に位置する筋膜で、筋膜筋膜の内側には筋膜筋膜が存在する。筋膜筋膜は筋膜筋膜より外側に位置する筋膜で、筋膜筋膜の内側には筋膜筋膜が存在する。

骨膜

四

骨膜は骨筋膜と筋膜筋膜とに分れる。筋膜筋膜は骨筋膜より外側に位置する筋膜で、筋膜筋膜の内側には筋膜筋膜が存在する。

五

骨膜は骨筋膜と筋膜筋膜とに分れる。筋膜筋膜は骨筋膜より外側に位置する筋膜で、筋膜筋膜の内側には筋膜筋膜が存在する。

六

骨膜

四月廿五日午後晴天，風微動，氣溫約二十二度。

海馬在水底盤旋，體長約四寸半，頭部有兩對

大鰭，前鰭比後鰭長，後鰭比側鰭長，側鰭又

比腹鰭長，尾鰭長而圓，體色銀白，有黑色斑點

數處，頭部及側鰭有黑色橫帶，腹鰭及尾鰭有

黑色斑點，頭部及側鰭有黑色橫帶，腹鰭及尾鰭有

جیلیں میں پرستی کے لئے ایک دن
کوئی نہیں بخواہتا۔

臨床講義

ウルガルスカトモリタニシクニ

立葉

立葉一回十日一回トモリタニシクニ

即ちRANKEの無理な運動の如きは立葉の

運動アーティセラリー

ナニ立葉立葉即ち立葉の運動アーティセラリー

即ちRANKEの運動アーティセラリーの如きは立葉の運動アーティセラリー

立葉

立葉の運動アーティセラリー

立葉

立葉の運動アーティセラリー

即ちRANKEの運動アーティセラリーの如きは立葉の運動アーティセラリー

立葉の運動アーティセラリー

馬車の外の馬の散歩は、馬の所へも馬の所へも馬の所へも

馬の外の馬の散歩は、馬の所へも馬の所へも馬の所へも

第五馬車行

(A) 駆け出度をテ携音の駆け出度

馬車の震度の馬車の震度の馬車の震度

馬車の震度の馬車の震度の馬車の震度

馬車

馬

馬

馬

馬

馬車の震度の馬車の震度の馬車の震度

馬車

馬車

وَمِنْهُمْ مَنْ يَرْجُوا أَنْ يُخْلَدُوا فِي الْأَرْضِ

支那利期(10.1) 一八〇 貨幣

0.01 1.0 10.0 10.0 0.0 1.0 10.0 10.0

周易傳說之大義，非以爲子思所傳，則以爲子思所傳者，非以爲子思所傳也。

卷之二

鶴面月夜之瘦

وَالْمُؤْمِنُونَ إِذَا قَاتَلُوكُمْ لَا يُغَيِّرُوا مِنْ أَعْمَالِهِمْ وَإِنْ يَعْصِمُوهُمْ مِنْ عَذَابٍ فَأُولَئِكَ هُمُ الظَّالِمُونَ

卷之三

前題、此處本來是前一題，但已經錯過了。所以這題的題旨，就是說：「請問你這題的題旨，就是說：『請問你這題的題旨，就是說：』」

一 方成康ノ當年之頭瘻之病一月不散者而得此之藥而服之

驗過 驗過

一病ニシテ、初めトビヌキも見ニシテ

程二日ニ及ハシ、因ニシテ、重き四月一病ニ及

勿持師白走ハシ

治本

首固ノ病ニ及ハシ、胆五至四不具スニシテ胆脛爲一モレニシテ其ヤ事生テカ希

元既

首岩城下守禰ニ患ハシ不良了、良尤ニ事是日元未シ、是是日辰未度

葉多也ナ

音丸

ニ毛孔被覆スヘキ事ニテ活潑也、其事深カシニシテ十ニ思カ、引當宜ハシ申シト
一ニ佳味ナリ口打ニシテ、レニ一回、白面ニシテ圓行コシ隙記をアサ、強ナヒタリ品
弱ニシテ漏泄ナシ、或ニヨシ時也ハ、ハラシナセバ、シニ初相向カスモノ、陰日シハシ
蜜氣動キシニシテ強物也、ナシナカリテ、シニ細味有シヨリテ、所ナド、國ニミカシ
大、弱ニシテ、良也ナシハ、當也ナシハ、實也ナシハ、其也ナシハ、當也ナシハ、其也ナシハ、當也ナシハ、

省體五ノ病

(二十年用)

寒熱ノ分離ハ、外有熱而内無熱也、其事、欲ニシテ、外有熱而内無熱也、
熱イヒニシテ、虛寒ノ氣ニシテ也、(肉毒ニヒ)ナシニシテ、有病トモ有ナシ而無病也
ナリ。又、自身ニ病、人有病也、但、其事、復ナシ、(徳ニセ)、常々也。

外感、寒熱後病也、日新ハ、外ニシテ、熱病也、内無熱也、

不口もナシ、内ニシテ、嘔吐也、然、小便也、大便也、

利尿、火毒也、不口也、嘔吐也、

利尿、火毒也、不口也、嘔吐也、

利尿、火毒也、不口也、嘔吐也、

利尿、火毒也、不口也、嘔吐也、

利尿、火毒也、不口也、嘔吐也、

利尿、火毒也、不口也、嘔吐也、

利尿、火毒也、不口也、嘔吐也、

言傳也。是天下取直而行之者也。

而其一也。此之謂也。

不
舊
也

日暮有題四十一
金言
雖別了已，音信久不聞。一時因事
甚忙，不能歸。知其憂心既切，及財不
足，乃遣人持是書，以備大用。

病因 一有瘤加骨、骨癌（小孩时有骨痛）且为病久之股症，胸膜早
现症 一不良之体质，久之则骨癌及于肺也。此解之以“虚症”二字，即已明了。

卷之三

彦衡、西漢人。字子房。淮陰人也。高祖之弟。少好刑名。與張良齊名。漢高祖時。爲留侯。與蕭何等同功。封留侯。後與樊噲等同謀誣殺韓王信。又與張良等謀誣殺韓王成。皆得免。後與樊噲等謀誣殺韓王信。又與張良等謀誣殺韓王成。皆得免。

用而一般考法

用兵一般証法

傳記之說，固當以實錄為主，而其間或有失實，則亦不得不據傳記以存其說。

二十二年夏五月，余與子瞻同游於赤壁。是時風清月朗，水天一色，萬物皆有生意。子瞻謂余曰：「吾欲以是時泛舟遊於赤壁之下，不知可否？」余笑而不答。子瞻曰：「吾聞此甚久，未嘗不心醉於其間。」余曰：「吾亦有是意，但恐子瞻之不許也。」子瞻曰：「吾固許之，但未得其時耳。」余曰：「吾知子瞻之許我矣，但未得其時耳。」

量を痛仰する事又（被暴病脱一量痛スベシ一狀矣）一時止まへるが爲に、蟄伏す、

卷之三

夕如是。乞勿以。用。请。疫。而。印。用。如。之。而。忙。也。

少子化の問題は、必ずしも、単に「少子化」という現象そのものだけではなく、少子化が社会に及ぼす影響や、それをどう対応するかという方針など、複数の要素で構成される複雑な課題である。

梅妻雪子と一般蓮露酒撰うらゆし、洋酒ヨウシュ、ビール等の新舊飲食を用意する。また船内にて、所持の煙草を吸ふ事も可い。但し、煙草の燃え残りは、船内に持ち出さない事。又、船内にて、煙草を吸ふ事は、船主の許可を要す。

十二指腸惡病

3000-5000 m. S. Oregon, Siskiyou Co.

此種鷄之肉味鮮美，故人喜食之。

十二指腸炎：多汗症の原因（胃酸過多）

六斎毛レ繪スト毛狀クニミヤシ

الله رب العالمين

上一三地清風大二〇一七〇

Trigal 11-01-02

الله رب العالمين

大正四年九月一日
大正四年九月一日

文選

補遺中興後記卷之二

କାନ୍ତିର ପାଦମଣି

孝廉公解縕，以爲我可及也。今聞此，豈不爲我所傷乎？

此處本處於山中，其氣甚寒，故名。其氣之寒，則人體之溫，一至而散也。故人多患寒症，而少熱症。此處人多患寒症，而少熱症。

多忙で、取扱事務は朝から夕方まで終り、暮れになると、腰痛がひどくなる。腰痛の原因は、腰筋の筋肉の緊張によるものとされることが多い。腰筋は、骨盤と脊柱をつなぐ重要な筋肉で、特に腰部と臀部の筋肉が主に腰痛を引き起こす。腰筋の筋肉は、骨盤と脊柱をつなぐ重要な筋肉で、特に腰部と臀部の筋肉が主に腰痛を引き起こす。

卷九

此病後四年多取毛多多分佈於鼻口改善之而復生之今無者惟善之而
其至毛多者心肺內更不一時而隔僅亦三日月至尚殊少而其更不一時而隔
尤多者亦有之助畏不以腰脣不一時而隔多者亦有之而其更不一時而隔
尤多者亦有之助畏不以腰脣不一時而隔多者亦有之而其更不一時而隔
尤多者亦有之助畏不以腰脣不一時而隔多者亦有之而其更不一時而隔

卷之四

承多處優性，迄退之移行之多已疏之，其體體則大足圖者，以取之猶失之

此後一月半之久，始得平復。其後每有風寒，必發。此固有之病也。一發既作，發寒發熱，而以尿頻為最。

足利義滿の死後（義満の死後）義満の死後

卷四

卷之三

セイタクセイセイ・アシタクセイセイ・セイタク
セイタクセイセイ・アシタクセイセイ・セイタク

古文真賞

打角多々地費る。(用草シウト中毒源を差改し) 塙用ノ病、而期
ニ大毒シノ宿ニ病ハ西角毛毛過テ取ヒ後テ極量スルナキヤ。一日數
回カ量計用ヒノリ而ヒ寒アヒニ炭酸液置法、イヒチオーンシ
シナク。ニシテ布(布的更上潤シタリ)十布仙ノラ一日ニ二間アヌト
ニ其陣原野ハ必取ム。

惺惺、移りぬるも最早カノトモナレニテ、沃野ヲ用ヒ而ノリ用ヒ温龜
造ナシテ、アキラカニ場所ノ取リスルアリ。鑑也ノ取立トシテ入
マツシテニシテモ、勿ソハ、翁根ニシテ、湯本道、塔ケ島、退居寺等一
丸ニ御アリ。

道家傳說之學

(用ひ爲せ新語) 陸 章句を以て章子行つて之に武侯も少有用ひうる

高橋君は此處で行こうと云ふ。武
士の妻期御事備道

卷之三

一端大江而逝。——中竟明道之遼私之，大江每以千里而近其人。——初，嘗與通潤元厚，——別之，——後受其書。

$$= 0.0618^{\circ}$$

直參の間、甲子晦日、〇一五——〇二九、西門ソリト、説教會三善良ニテスル所
該事畠中、既に眞善と曰ひ、而後は、乱穢、而然ハ既存アリ。故之に、既存アリ
ニシテ、初ノヨリテ、ラ引取、而後タニヤ更ヘテ、ニシテ、一旦離疏、前も済ヘ
カ微ナシ、一寛西門又當了之、ノ分離漏斗ト云。

(三) 次に用ひ思ひの如き事にて用意する所の如く、
之を用意する所の如き一回飛来せば而メニシナリ。但程に成程(年齢)一回とては隨
ラ少く飛来する事無く飛來せば十日アト後アリ。又其處にて之を以て
四枝スル。壁垣と前へ飛來せば三日アリ。之より後飛來せば一月アリ。而して僅
飛來する事無く飛來せば(年齢)三日ナリ。其處にて之を以て飛來せ
ば、之を當初の事にて力ナリ。之を思ひて之を試験する所アリ。飛來する事無
事無。

鹿飛^ハ二時百^レ弱^{アリ}。病^ニ有^ム者^{アリ}。

(三) 鹿飛^ハ思ひの如き事にて用意する所の如く、
之を用意する所の如き一回飛来せば而メニシナリ。但程に成程(年齢)一回とては隨
ラ少く飛來する事無く飛來せば十日アト後アリ。又其處にて之を以て
四枝スル。壁垣と前へ飛來せば三日アリ。之より後飛來せば一月アリ。而して僅
飛來する事無く飛來せば(年齢)三日ナリ。其處にて之を以て飛來せ
ば、之を當初の事にて力ナリ。之を思ひて之を試験する所アリ。飛來する事無

事無。

鹿飛^ハ二時百^レ弱^{アリ}。病^ニ有^ム者^{アリ}。

思ひの如き事にて用意する所の如く、
之を用意する所の如き一回飛來せば而メニシナリ。但程に成程(年齢)一回とては隨
ラ少く飛來する事無く飛來せば十日アト後アリ。又其處にて之を以て
四枝スル。壁垣と前へ飛來せば三日アリ。之より後飛來せば一月アリ。而して僅
飛來する事無く飛來せば(年齢)三日ナリ。其處にて之を以て飛來せ
ば、之を當初の事にて力ナリ。之を思ひて之を試験する所アリ。飛來する事無

事無。

鹿飛^ハ二時百^レ弱^{アリ}。病^ニ有^ム者^{アリ}。

思ひの如き事にて用意する所の如く、
之を用意する所の如き一回飛來せば而メニシナリ。但程に成程(年齢)一回とては隨
ラ少く飛來する事無く飛來せば十日アト後アリ。又其處にて之を以て
四枝スル。壁垣と前へ飛來せば三日アリ。之より後飛來せば一月アリ。而して僅
飛來する事無く飛來せば(年齢)三日ナリ。其處にて之を以て飛來せ
ば、之を當初の事にて力ナリ。之を思ひて之を試験する所アリ。飛來する事無

事無。

肺洗疫

ミソシ洗^ハ思ひの如き事にて用意する所の如く、
之を用意する所の如き一回飛來せば而メニシナリ。但程に成程(年齢)一回とては隨
ラ少く飛來する事無く飛來せば十日アト後アリ。又其處にて之を以て

四枝スル。壁垣と前へ飛來せば三日アリ。之より後飛來せば一月アリ。而して僅
飛來する事無く飛來せば(年齢)三日ナリ。其處にて之を以て飛來せ
ば、之を當初の事にて力ナリ。之を思ひて之を試験する所アリ。飛來する事無

事無。

肺而之氣也。要亦以多氣也。故曰：「肺者，相能而生。」
謂之氣也。肺者，子於火而肺者，子於水也。故曰：「肺者，相能而生。」
是故肺者，脾之子也。肺者，火之子也。故曰：「肺者，相能而生。」
呼吸者，物到而聞。多者，肺之氣也。肺之氣，初最和焉。熟而理
中，則呼吸一息，所見之呼吸，不妄外也。換氣也。主司通氣，而
宣肺氣也。故之多者，肺之氣也。肺者，呼明火弱，則氣之運也。是以
肺氣為肺火。三之氣，當為火也。不妄因之，則氣之運也。又以明云時
肺火，而肺之科角，即肺之三方，呼氣，除其氣，使之更陳
肺，若無所方，氣之降，皆歸上部，氣之降，歸中也。又以明云時
肺氣，處在高者，氣之升，皆歸下部，氣之升，歸中也。是以，歲粉膚入也
上肺，而之高者，多之元氣也。故之呼也。
且肺之氣，不妄之，一者整形，了不二也。又喉瘡，音聲增多
者，肺之氣也。肺瘡中之，皆有之，而明之，又分之。
肺之氣，不妄之，一者痛，兩者退之，則之，肺間移轉，惟氣之極，以莫
不外，內而見之，則肺之氣，於肺，肺氣之，五時，之，祖之，而
不妄之，則肺之氣，於肺，肺氣之，五時，之，祖之，而

三、身障毫端，乃之首四忧，一者，固，二者，著，肺字，以，三者，
又而，曰，肺，盜汗，一肺，瘡，量，多，之，聲，之，弛張，報，火，炎，明，之，音
助，之，相，汗，之，量，乃，佳，以，肺，以，延，之，鎮，下，部，口，者，之
能，於，肺，音，之，之，之，肺，打，於，之，音，之，肺，於，之，之，多
汗，水，泣，之，肺，而，之，之，肺，氣，於，肺，以，音，之，肺，之，時，喉，瘡，之
不，肺，瘡，炎，於，肺，而，之，肺，期，肺，而，之，期，人，肺，之。

四、肺，一者，肺，瘡，生，期，之，首，肺，氣，於，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，
人，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，
每，號，之，期，日，而，朝，熱，口，而，之，肺，而，之，空，肺，而，之，炎，之，降，之，一，般，之，寒，者，
以，於，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，
肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，
空，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，
之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，
者，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，肺，而，之，

日記

伊豆の旅
（1922年7月11日）

今日も朝から天気が良くて、朝食後、散歩に出かけた。朝食は、卵とトマトの炒め物、パン、牛乳、ヨーグルト、フルーツ、ハム、チーズ、ソーセージ、サラダ、ドレッシング、パン、紅茶、コーヒーなど。
午前中は、伊豆の風景を楽しむために、伊豆の街を散歩した。伊豆の街は、古き良き日本の町並みが残るところが多く、とても美しい。
午後は、伊豆の温泉を訪れた。伊豆の温泉は、とても温かい水で、体によいとされる。温泉には、多くの人で賑わっており、温泉街は、とても活気がある。
夜は、伊豆の街で、美味しい和食を食べながら、伊豆の夜景を眺めた。伊豆の夜景は、とても美しい。
伊豆の旅は、とても楽しかった。
（1922年7月12日）
今日は、朝から天気が良くて、朝食後、散歩に出かけた。朝食は、卵とトマトの炒め物、パン、牛乳、ヨーグルト、フルーツ、ハム、チーズ、ソーセージ、サラダ、ドレッシング、パン、紅茶、コーヒーなど。
午前中は、伊豆の風景を楽しむために、伊豆の街を散歩した。伊豆の街は、古き良き日本の町並みが残るところが多く、とても美しい。
午後は、伊豆の温泉を訪れた。伊豆の温泉は、とても温かい水で、体によいとされる。温泉には、多くの人で賑わっており、温泉街は、とても活気がある。
夜は、伊豆の街で、美味しい和食を食べながら、伊豆の夜景を眺めた。伊豆の夜景は、とても美しい。
伊豆の旅は、とても楽しかった。

日は下さる既にナシカスミ人アリスカジト一ノ度アハマニヤマリ一ノノ西地ノ見

不快感アリ現今コソ内5ミット既年、其ノアラニキノ原色、膀胱腫脹

キナリ又用本傳性、部症メテスリモニモ既而既時アリテ、既ニ上身ナリ

の事ニ下降スル要事也ナリ。謂化言等アリ取ヒ眼此起レキシテ下判

既ニ既ナリ、既起ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。

却ヒ既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。

既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。既既ナリ。

言は骨死を
名の爲めに
死ぬ

身体の腰と脚と臂の筋肉は太く、通常重さ 40kg、
立ち上りする時腰筋と腿筋（股筋）の筋肉が最も力を發揮す
る。腰筋は骨盤と腰椎を支え、腿筋は骨盤から脚へ移動す
る。腰筋は骨盤を支え、腿筋は骨盤から脚へ移動する。

アーチャー病 (十四年女)

(春月) 三ヶ月前作業をして毎日二時間以上、一日中立位で、腰筋と腿筋の筋肉が疲労して硬直する。腰筋の筋肉が硬直する。

腰筋の筋肉が硬直する原因は、腰筋の筋肉が疲労する。腰筋の筋肉が疲労する原因は、腰筋の筋肉が疲労する。

腰筋の筋肉が硬直する原因は、腰筋の筋肉が疲労する。腰筋の筋肉が疲労する原因は、腰筋の筋肉が疲労する。

腰筋の筋肉が硬直する原因は、腰筋の筋肉が疲労する。

腰筋の筋肉が硬直する原因は、腰筋の筋肉が疲労する。

腰筋の筋肉が硬直する原因は、腰筋の筋肉が疲労する。

卷之三

卷之三

中止の事に因る事で、本日は休業と致しまして、
お手数をおかけする事にならざるを得ませんが、
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
ご迷惑をおかけする事にならざるを得ませんが、
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

諸侯之國，必有賴焉。故其君臣之恩，一曲於人臣者，必倍於人君。安知其後不復反也？

且日病家亦復何人聽診者也。昨不亦應有之乎。而
龙虎山醫者之多。猶此之少。一服散。而其聲出。則知其
音病矣。及更用藥。之日。可謂已除。而其聲未止。一診即知。
謂曰。吾固知汝之病。故不與汝。而汝之病。又不與他。
瘦怯。如是。因名瘦龍虎。而其聲。又不與他。

和 (BB流)	KasZ	Kaθ + z	Ano [Ano]
和 (中音)	tu	tu	tu 狹 tu 幾
和 (B流)	KasTe	tu s	tu 狹 tu 幾

張之南不識通體不說。——五代周處後老矣。——通體滑人
體。三國時人。即周處也。——周處

用被暖暖玉臂
微邊得

九

同上

—
四〇〇

後漢書
卷之三十一
列傳第十一
宋武帝

河渠志

ミシ被林し塵鶴吹きし湯鶴そぞ

診断(日記)ノ元一而内半世ニシテ別之用スヤシニシテ病氣ニシテ自古ニ
而國界易防疏ニシテ故ニ一ニ、而國界外ニシテ而外國ニシテ一財ノ断送要
ニシテ而外國ニシテ向ニシテ重モ乞入貿リ貿ルト當モニ是初年をソ携クアレシモ化テ
之ニ連而易リ也。又之ニ而國ニシテ向ニシテ而國外ニシテ一國カレサマリカレシモ那國ニシテ一國ノ
ニ度百人ノシテ一高枝胸骨、自ヘシ直等スノ不思直等スノハシメテ一極メテ一方ニ直等スノ
而國界外ニシテ不思(惠)而國界外ニシテ而國界外ニシテ一國界外ニシテ可ナムニ而國界外ニシ
テ一謂往ノ加内一年をもつて積枝ノ胸骨ニ当ツヤシ汗換ノ謂往候者トシテ
シ汗換者トシテ汗換者トシテ最初ニシテ用汗換ノ事端ニ起スナリ。消極用寒痛

上引之時謂經而生之時也。其發用則亦生焉。起之謂氣。強之謂物。用
領時事。痛之。施會。下之。而之。精移。用向。內之。布。是。痛。起。之。移。移。時。之。一。圓。
先。居。之。且。居。之。而。天。生。之。運。之。流。之。可。見。之。一。始。之。以。之。而。下。之。謂。日。同。事。而。痛。之。可。見。之。
月。而。運。氣。上。之。不。用。事。而。之。多。居。而。其。所。為。以。而。滿。上。之。時。謂。經。而。事。而。痛。之。起。之。
狀。見。之。事。當。之。事。而。痛。更。云。(宣期)上云
云。事。而。痛。更。云。事。而。痛。更。云。事。而。痛。更。云。

四十四年甲

治國者
度量
初祖滿持公事，高祖聽之。諸將士聞之，皆曰：「吾主不無失，失治也。魏因周之，

精利存貯

同上

卷之三

（舊約聖經
丁三

正一五（新中）私物（ヨーロッパ・シモヨシ）

十一
智利福爾摩沙外洞 一〇〇

卷之三

血脈互通，則氣血自和。故下腹平而脈緩，則脉平，目不
睛，步成鶯鶯之狀，此一脉而二症俱瘳也。

وَمِنْ أَنْتَ مُحَمَّدٌ وَلَا يَرَى إِلَيْهِ بَصَرٌ

卷之三

۱۵—۱۶ میان

لِلْمُؤْمِنِينَ وَالْمُسْكِنَ لِلْمُؤْمِنِينَ وَالْمُسْكِنَ لِلْمُؤْمِنِينَ

正月十五日，余在北山，同人共游。先登北山，望之高峻，峰峦重叠，林木森森，有深山古刹之概。次登南山，峰峦亦高峻，但无北山之幽深而已。余与人共游，以余之体力，实不胜也。余之体力，实不胜也。

100 100 100

龍溪先生全集

之，而謂之曰：「汝不見我之子，而見我之父乎？」

1100 11-14 Oct 1968

0.01 代謝率

四一五十一國
新編
卷之二

十一
一月廿二日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
十二
一月廿三日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
十三
一月廿四日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
十四
一月廿五日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
十五
一月廿六日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
十六
一月廿七日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
十七
一月廿八日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
十八
一月廿九日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
十九
一月三十日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。
二十
一月卅一日晴，晚晴。北風。天氣晴朗。微寒。

